

# あいあいあい

I eye 愛

2025年  
5月号



3/30 脱原発エネシフ委員会主催『こどもに原発事故を伝える会』

## こどもの心を映し出す絵に みんなの幸せを見出そう

理事 萩原 晃世

原発事故は、過去の出来事ではありません。14年前に起きた東京電力福島第一原発事故。あれから、今この瞬間もなお原子力緊急事態宣言は解除されておらず、故郷に戻れない人や、放射能の影響を受けて暮らしている人たちがいます。その現実を、事故を知らない若い世代にどう伝えていくのか・・・そんなテーマを持ち今年も脱原発エネシフ委員会では「こどもに原発事故を伝える会」を開催しました。

子ども達が一生懸命に感じ取ろうとする姿を見て、この子達が生きる未来への責任を感じました。

今年はお絵描きファシリテーターの「つっちー先生」こと土屋聡氏を講師に迎え、「みんなが幸せになれる絵を描こう」の言葉に約30名の参加者は屋外で大きな紙に思いっきり絵を描きながら、一緒に原発事故について学びました。絵の具を乾かす間に、原発事故に関する子供向け絵本の読み聞かせや、委員による原発事故の話などの時間をもち、つっちー先生からは「原発は毒を燃やして電気を作るけれど、その毒は人間の手に負えない」と子ども達に向けての分かりやすいお話もありました。

動き出してしまった女川原発では今、新たに乾式貯蔵施設の建設計画が進んでいます。女川原発の使用済み核燃料を入れるプールはすでに7/8割が埋まっており、このまま原発を使用して行けばあと3、4年で貯蔵できなくなるため、敷地内に乾式貯蔵施設を作ろうというのです。東北電力は「あくまでも再処理工場へ持っていくまでの一時保管場所である」と言っていますが、再処理工場は30年経っても完成しておらず全く現実的ではありません。今この施設建設を許してしまえば未来永劫、女川は核のゴミ捨て場になってしまう懸念があります。

日々電気を使う私たちにも、その背景にある現実と向き合う責任があります。だからこそ、原発事故の記憶やそこから得た教訓を、未来に生きる子ども達に伝えていくことが、私たちの大切な役目です。障子紙に描かれた沢山の「みんなが幸せになれる絵」に、その愛や思いはいつか未来を拓くのだと教わりました。

日々電気を使う私たちにも、その背景にある現実と向き合う責任があります。だからこそ、原発事故の記憶やそこから得た教訓を、未来に生きる子ども達に伝えていくことが、私たちの大切な役目です。障子紙に描かれた沢山の「みんなが幸せになれる絵」に、その愛や思いはいつか未来を拓くのだと教わりました。

### CONTENTS

- ▶2024 年度農産報告会 ……2
- ▶さよなら原発宮城県民集会 ……3
- ▶天童トライりんごオーナー3 年目スタート ……4-5
- ▶春恒例！原木椎茸見学ツアー ……6
- ▶議案書説明会案内 ……7
- ▶今日はコレ！わたしのおすすめ ……8



2024年度

# 農産報告会 賑やかに

毎年3月に行う農産報告会は県内4産地の取り組みと次年度の抱負を組合員みんなで聞き理解することで生産者を応援する会です。

あいコープからは、農産担当の職員・佐藤澄奈さんが受注実績や生産者との取り組み、農産物基準等を説明、続いてセットセンターの木村由里さんからは、組合員からの青果のお申し出削減を目指し、4名の担当者で検品体制を強化していることとお話いただきました。また、社会福祉法人みんなの輪の利用者さんが青果の袋詰めをして下さることで、生産者の作業負担の軽減と、こちらも検品の強化につながっており、結果的にお申し出件数が減少したという報告をしていただきました。



参加者でいただいた試食  
各産地の野菜をシンプル調理で



(左から)ファシリテーター吉武常務・西塚忠樹さん  
細谷滋紀さん・渡辺重貴さん・菅原達徳さん

続いて4名の生産者から、取組2年目となる『あいコープ資源循環型農業推進プロジェクト』について各産地の取り組み状況の報告と2025年度の計画をお話していただきました。その後は各産地のお野菜を使った試食品を囲みながら、参加者の皆さんから事前にいただいた質問に生協と生産者が答えるセッションを行いました。

理事 太田代 一世

## 産地応援し隊 総勢220名になり活動開始!

2025年の産地応援し隊の活動は毎年恒例の新規募集チラシの配布から始まりました。今回の新規登録者は68名、全体で220名となりました。事務局としては、転勤やライフスタイルの変化などで活動を離れる方との別れの淋しさを感じる時期でもあります。新たな登録者の方々の前向きな姿に、今年も楽しもう!と励まされています。

今年恒例のトマト苗をハウスに植える定植作業の他に、収穫したお米を入れる巨大なフレコンバッグ補修や収穫が終わった春菊を抜き取る撤収作業、梨の剪定枝を砕いて土に戻す作業と、初年度にはなかった依頼も寄せられています。



初心者にもできるが人手がかかる仕事を  
たくさんの組合員で手伝います



春菊の抜き取り



「名もなき農業」  
フレコンバッグの補修作業

農業と言えば土や作物に触れる作業のイメージが強い方がほとんどでしょう。実際には、それらの作業を行うのに必要な「名もなき農業」がたくさんあるのです。隊員が増えるにつれてカバーできる作業が増えるのは喜ばしいことです。応援し隊が農業を支える『つかえ棒』から『柱』に成長できるように、皆さんもお気軽に登録ください。お問い合わせはあいコープみやぎまで!

産地応援し隊事務局 後藤 咲子

「さようなら原発」宮城県民集会に参加しました

3/23青葉区国分町・元鍛冶町公園にて「女川を核のゴミ捨て場にするな！女川原発を廃炉に！さようなら原発宮城県民集会」が開催され、400名の市民が脱原発の声を上げました(主催:さようなら原発みやぎ実行委員会)。

新潟から駆けつけた小木曾茂子さんより、東京電力・柏崎刈羽原発再稼働の是非を県民投票で決めるための条例制定を求める署名活動で14万筆以上を集めた報告があり、6年前に同じ署名に取り組んだ宮城県民から温かい拍手が沸き起こりました。女川町議の阿部律子さんからは、東北電力が女川原



日曜日の元鍛冶町公園に集まった組合員と生産者

発敷地内で計画している使用済み核燃料の乾式貯蔵施設建設に断固として反対すること、計画に同意しないことを求める町民署名を女川町長に提出したことなどが報告されました。

集会の後、参加者はのぼり旗や鳴り物を手に、仙台市中心部をアピール行進。「危険な原発もうやめよう！」と訴えながら日曜日の繁華街を練り歩きました。

女川原発2号機は再稼働してしまいました。再停止そして廃炉を求め、あいコープも草の根の運動を続けていきます。

理事 石井 朱里



あいコープののぼり旗を掲げて仙台市内をデモ行進

光明遠い「ガザ停戦」合意後のパレスチナ

「恒久的停戦と平和を求め、関係団体が賛同署名を募集中」

オルター・トレード・ジャパン

(ATJ)社を通じた民衆交易のオリーブオイルで私達とつながるパレスチナですが、1/19の停戦合意にも関わらずガザ地区では3月に再攻撃が始まり、オリーブの産地・ヨルダン川西岸地区でも軍事作戦が展開されています。ATJ社など複数団体で作る「パレスチナの平和を求めるアクション実行委員会」では、「ガザの恒久的停戦と、パレスチナの平和を求める」声明への賛同署名を5/15まで募集しています(詳しくは左のQRコードからATJ社ホームページをご参照ください)。



「パレスチナの平和を求めるアクション実行委員会」記者会見 (3/28開催、ATJ社ホームページより)



あいコープみやぎでは、このよう

な人道危機や自然災害に対し、国内外を問わず支援する「あいコープ自然災害基金」を運用しており、皆さまからのカンパを毎年受付けています。最近では3月の強風で被害を受けた宮城県内の産地に対し、基金から見舞金を支出しました(P6に詳細報告あり)。カンパにはあいコープポイントも活用していただけます。皆さまの温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。詳しくは4/28配布のチラシをご覧ください。

理事 石井 朱里

〈あいコープ自然災害基金 募金方法〉

注文用紙またはネット注文で受け付けます。

- 申込番号 000842 300円/口
- 申込番号 000843 1,000円/口
- 申込番号 222842 300Pt/口
- 申込番号 222843 1,000Pt/口

※300ポイントは300円に相当します。(強化期間:4月4回~5月4回注文書)



# 「やっぺし精神」でネオニコフリーに挑み続けて12年 トライりんご園地に また春が来た！

ミツバチの大量死や失踪(巣に戻らない)が話題になったことで、多くの人とその影響を耳にすることとなった「ネオニコチノイド系農薬(以下ネオニコ)」。あいコープには、この人体に悪影響を及ぼし農地を汚染してしまう農薬を使わずに米や野菜を作る生産者が数多くいます。(農産区分「トライ・アイス」)

中でもネオニコ不使用が難しいと言われる果樹栽培に、組合員と生産者が協力しているのが「天童トライりんごオーナー制度」です。2013年に「やってみっぺし(やってみよう)」と始まったネオニコ不使用栽培を、気候変動の中で挫折も経験しながらオーナー制で再度スタート。3月29日、3年目の取り組みがまた始まりました。



残雪の山を背負ったりんごの園地



公民館で生産者と顔合わせ



まだ固いりんごの花の芽

今年1月末から募集した2025年度の「トライりんごオーナー」に、144名の組合員が申し込んでくれました。実際に園地で農業を体験する「生産者なりきりコース」に8名、「食卓で応援コース」に136名、いずれも年間3千円の出資金で、ネオニコ不使用に挑む生産者を支えます。

3月29日、この日はまだ2024年度内ですが、天童での組合員活動は毎年フライングスタート。オーナー活動は3月の「枝の剪定」から始まります。なりきりコースに申し込んだ8家族29名は、春は名のみ肌寒い天童に集合し、初顔合わせです。園地近くの公民館で『始まりの会』を行い、この取り組みをする理由やこれまでの挑戦の経緯を担当理事から解説しました。「子どもにりんごができる様子を見せたくて参加しました」「食の安全に興味があるので参加しました」「あいコープのネオニコ削減、こういうことかと改めてわかって感動しています。一緒に頑張りたいです」と、皆さん期待と使命感で溢れていました。

園地に移動して剪定作業体験を開始します。切るべき枝を教えてくれるのは、天童果実同志会の原田洸一郎さんをはじめとする生産者。「難しいべ？俺ら生産者だって、40年もやってきてるのに未だに正解がわからないもの(笑)」というゆる～い指導に笑いが起こり、ハサミを手に、和やかなムードでパチンパチン…。参加者みんなで、オーナーの樹の枝を剪定していきました。



腰にのこぎり、サングラスの原田さん



参加者に説明をする生産者の松田さん(右)



園地に立てた看板には、毎年のオーナーがメッセージシールを重ね貼りし、3年目にはこんなに賑やかになりました



2025年度「生産者なりきりコース」オーナーの皆さん

小さなお子さんも大人と一緒にのこぎりやハサミで枝を切る体験をしました。こうして余分な枝を落とし、日当たりや風通しを良くすることで健康な樹に育てます。花も葉もない枝にりんごが実るのを想像しながらの作業です。「正解は未だにわからない」と言いながらも、「栄養の流れがこうだから…」と理論的に切る枝を決める生産者の作業は見事。遠方から剪定のプロと言われる先生を招いて勉強会も行われているようで、生産者の努力が伺えます。参加者は、たどたどしい手つきながら1時間ほどで3本の樹の剪定を体験し、この日の活動は終わりました。



お父さんに抱き上げられてのこぎりに挑戦する男の子

昨年は227名のオーナーに、収穫されたネオニコ不使用りんごが2キロずつ届けられました。食べた組合員からは「今まで食べたどのりんごより美味しかった！」と感想が寄せられ、なりきりコースのオーナーも大満足！これが生産者の味わう「食べてもらえる喜び」なのだと感じることもできる活動です。昨年、2024年度の出資金は総額68万円余り。無事に収穫できたりんごの代金のほか、ネオニコ不使用の為に増える恐れがある害虫対策(作物を汚さない忌避剤購入)や、園地に新しい苗木を植える為に、51万円を産地に届け活用してもらえました。オーナーの熱意は産地に伝わっています。

ネオニコ不使用のりんご園地を絶やすことなく、技術を向上し、いつかもっと広げていくことができれば…。しかしその挑戦には生産者の生活へのリスク(収入減)が伴います。産地に行き、現場の課題を一緒に感じて、組合員みんなで応援し続けましょう！

ネオニコについてもっと知りたい！  
『オーガニックくえすと』  
(制作：アクト・ビヨンド・トラスト)



農民連の八田純人さんや、あいコープの活動も登場。ネオニコについて、イチから学べます。



## 生産者 片桐完一さん(天童果実同志会会長)からのメッセージ

今回、3回目の「開園式」となる始まりの会と剪定が開催され、りんご作りに大変大事な剪定作業を体験していただきました。

これから花が咲き、本格的に作業が始まります。皆さんとお会いできることを、りんごの木の下でお待ちしています。

## 3/30 『令和の百姓一揆』に参加

「すべての市民が安心して国産の食料を手にするために、すべての農民に所得補償を」「日本の食と農を守ろう」——メディアでも多数報道された【令和の百姓一揆】、東京都内で行われた集会とデモ行進に理事2名が参加しました。青山公園から渋谷、表参道、代々木公園までのトラクター30台と3200名以上によるデモ行進には、沿道から温かい声援も。この日は全国13カ所でも同時行動が行われ、危機的な状況にある日本農業を印象付ける日となりました。(理事 石井朱里)



スタート集会でステージに注目するメディアと参加者(一部)

## 次期中期ビジョンを策定する委員会が始動しました

「つながり・はぐみ・ゆたかに・つたえる」のキャッチフレーズを掲げたあいコープみやぎ2025年ビジョンもいよいよ最終年。5年間の総括と次の中期ビジョンを検討するためのビジョン委員会が4月に発足しました。「数年後の世の中はどうなっていて、その時どんなあいコープでありたいか？」を組合員・職員・生産者が集い話し合っていきます。今回はテーマごとに検討スケジュールを公開し、皆さんの意見を広く募集します。詳しくは5月中旬に配布するチラシをご覧ください。(理事 石井朱里)



わだいのたねまき





# 春の東和町で原木椎茸の収穫体験！

登米市東和町へ向かう道沿いのサクラムも満開に近い4月12日、芳賀裕さんの原木しいたけ見学会が行われました。16組36名の組合員と県から職員さんが参加しスタッフも合わせると総勢51名！賑やかな会となりました。

ホダ木を水に浸ける作業場を横切り、人工圃場を見学。椎茸がぼこぼこ顔を出しているのが見えます。先頭を行く芳賀さんのお話しを聞きながら、ハイキングのように急な山道を登り終わると今度は急な下り斜面！そこには数えきれないホダ木がビッシリとガツチリと並べられています。木漏れ日も美しく、圧巻！そして、まさに食べごろの椎茸がいっぱい生えていました。参加者の皆さんは広いこの斜面、思い思いの場所で収穫体験をしました。

山を下りて、美味しい椎茸汁や椎茸の炭火焼きをいただきながらの質問タ



急斜面に並ぶ「ほだ木」から椎茸を摘み取る貴重な体験



家族できのこ汁に舌鼓



ほだ場をバックに記念撮影

イムでは、椎茸の保存方法や栽培中の放射能対策のお話など様々な話題で盛り上がりました。小さなお子さんからの「きのこそだてるのってむずかしいの？」というかわいい質問に「お庭では難しいかな」と優しく答える芳賀さん。そのお人柄が伝わる温かな良い時間でした。椎茸のこと、里山のこと、安全なものをお届けしたいこと、芳賀さんの思いが伝わる見学会となりました。

理事 佐藤 有子

月刊 P B プライベートブランド

5月号

「ミートセンターで作る生ソーセージ」は4回目のミーティング。保水力を高め美味しさを閉じ込めることと、プリットした食感を求めて、貝カルシウムを添加した2種類と前回の試作品を食べました。食感改善しましたが別の課題も浮上し、更なる改善を目指して意見交換しました。

生ソーセージがなぜ「生」なのか。それは「肉の加工品だつて出来立てが一番美味しい。だからソーセージの最終工程（加熱）を家庭で行うことで、その美味しさを味わえる」ということだと学びました。となると、調理方法も大事になります。ソーセージのプロにアドバイスをもらい、冷凍のまま茹でるか解凍してから茹でるかなど試行錯誤しています。

原料のスペックは間違いのないものを選び、そしてパッケージに記載予定の「美味しく召し上がる方法」も、できるだけ満足できるものを組合員の皆さんに伝えようと、プロジェクトメンバーは頑張っています。

理事 鈴木 真奈美



今回は3種類を食べ比べ

## 理事会議事録抄

2025年4月1日（火）

▼産直豚用国産飼料の導入を承認した▼2025年度議案書説明会日程を承認した▼総代当選人の通知及び公告について協議した▼役員報酬限度額を決定した▼役員退任慰労金支給額を決定した▼2025年度役員報酬審議委員会を決定した▼Wa！わあ祭り2025実行委員長を承認した▼たねまきプロジェクト企画案を承認した▼石けん環境委員会主催企画を承認した。

### ◆強風被害見舞金◆

- （あいこープ自然災害基金から）
- ①大郷グリーンファーマーズ
- ②七郷クローバーズファーム
- ③わは・わ味明
- ④わは・わた尻
- ⑤花兄園

※各生産者に3万円ずつ贈呈

### 組織概要

(2025年3月分)

【組合員数】	17,794名
【供給高】	268,140千円
【一人実利用高】	6,308/週
【出資金】	1,357,873千円



●拭いても洗っても落ちない、食べれば身体に取り込まれる農薬を使わずにりんごを生産しよう、との心意気。でも、リスクは高い。賛同者を増やして応援したいと考えながら帰宅しました。（天童りんごオーナー剪定参加者の感想より）

**\*2025年度 議案書説明会\***  
 25年度通常総代会(6月20日開催)を前に、  
 議案書の説明会を各地区で開催します。

日程	地区	会場	託児会場
5/21(水)10:00~	泉B	根白石市民センター 調理室	和室
5/22(木)10:00~	しおさい	多賀城市文化センター 第2会議室	第1会議室
5/23(金)10:00~	青葉	北山市民センター 第3会議室	和室4
5/28(水)10:00~	太白	西多賀市民センター 調理室	和室
5/29(木)10:00~	宮城野若林	あいコープみやぎ日の出町センター 大会議室(zoomによるオンライン対応あり)	小会議室
5/30(金)10:00~	石巻	東松島市矢本西市民センター 会議室	和室
5/30(金)13:00~	仙南	名取市文化会館 和室	和室
5/31(土)10:00~	泉A	泉中央市民センター 第1会議室	和室1

※所属の地区に関わらず、ご都合の良い日程・会場で参加していただけます。  
 ※2025年度総代の皆さまには、別途ご案内と参加票をお送りしています。  
 ※総代でない組合員もオブザーバー参加可能です。ご希望の方はお問い合わせください。  
 (あいコープみやぎコールセンター 0120-255-044 組合員事務局 鈴木・太田代)



理事 石井 朱里

私事ですが、この春次女が小学校に入学しました。わが家は彼女が生まれる少し前に仙台に引越してきたので、つまり仙台に暮らして丸6年、あいコープ生活も丸6年が経ちました。ゼロからのスタートでしたが、あいコープの活動を通してたくさんの方と出会い、人の輪の中で子育てをしてこれたことに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとう、あいコープ!

編集後記

私のオススメ商品



「2P あいコープのあら挽きウインナー」をお勧めします。まず一口噛むと、パリッとした皮とジューシーな肉汁が最高！粗挽きだから、しっかり肉感があって食べ応えもバッチリ！味付けはシンプルで、子どもから大人までみんなが好きな優しい味わいです。焼いても茹でてでも失敗知らずで、パンに挟んだり、野菜と炒めたり、アレンジも自由自在！ビールのお供にもぴったりで、週末のリラックスタイムが楽しみになります。値段も手頃なのに、市販の安いウインナーとは全然違う満足感です！ 事業部 供給課 大迫 駿斗



委員さん募集中!

あいコープの仲間と  
食のこと  
環境のこと  
一緒に話しませんか?

お問い合わせ先  
 ☎0120-255-044  
 Fax 0120-849-324  
 Email [i-kumikatsu@mamma.coop](mailto:i-kumikatsu@mamma.coop)  
 (担当: 組合員事務局 鈴木・太田代)



ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「お茶っこケア」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。個人で利用できるサービス(ささえあい/たすけあい/集団託児/慶弔・出産/電話相談)もあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

ジョイケア利用状況 (2025年3月分)

ささえあい(保障)	2件	(動物被害による商品への補償)
たすけあい(ケア)	4件	(ケア時間 合計5時間)
集団託児	7件	(利用延べ人数 18名)
慶弔	10件	(出産祝い4件 お悔やみ6件)
電話相談	8件	(キャンセル除く相談実施件数)
計	31件	

組合員が利用できる電話相談

お申込み・お問合せは  
ジョイケア事務局へ



0120-50-7277 平日 9:00~17:00

年金相談・6/10(火) 社会保険労務士 清野道子氏

13:30~15:30

法律相談・6/10(火)、6/18(水) 弁護士 倉林千枝子氏

13:30~15:30

子ども相談・6/26(木) 宮城教育大学准教授 三科彰子氏

10:00~12:00

\*介護相談は相談日のご希望を伺います。

介護相談 (ケアプランセンター木ねび 山崎彰子氏)

▼随時受付可能です。各相談窓口前週の金曜日までに予約して下さい。▼金曜日が祝日の場合は直前の平日の受付時間まで受付します。▼予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。



●自給率を上げることにつながる、安心安全なものを作っている生産者の生のお声が聞けて良かったです。人畜一本、葉物一つでもスーパーで買わないで協力しよう、と思いました。(農産報告会参加者感想より一部抜粋)



今日は  
コレ!

# わたしのおすすめ

〈第9回〉

今月の食材

## 株式会社リアスの

### 『芽ひじき』

(千葉県船橋市)



私のおすすめは、リアスの芽ひじきです。

リアスは三陸わかめ、北海道昆布、日本全国の海藻類を取り扱う加工メーカー。代表の坂詰さんは生産者や商品の魅力を消費者へ直接伝えたいとの思いから、全国各地をキャンピングカーで巡回ライブ販売を続けていて、あいこープの理念を体現しているような方です。昨年のWa!わぁ祭りにもわかめのコスプレをして出店され、多くの組合員と交流していらっやいました。

和食が見直されていますが、乾物はちよつと手が出しづらくて…と感じてはいませんか?今回ご紹介する芽ひじきドレッシングはとても簡単!

鉄分、ミネラル、食物繊維等を豊富に含む芽ひじきと、酢がキリツと効いた食べるドレッシング。生野菜サラダ、温野菜をはじめ冷奴やそうめん、熱々のご飯にもおすすめです。

栄養素をギュッと閉じ込めた乾物類は備蓄食材としても優れたものです。

食育コンダクター※ 本吉 尚子

※食育コンダクターとは…NPO法人とうほく食育実践協会が育成・認定する「食の伝道師」。約1年間、養成講座を受講して食の根幹を学んだメンバーが、食育の現場で活躍している。

かんたん便利!

## 『芽ひじきのドレッシング』



〈材料〉  
全て大さじ2

- ・芽ひじき
- ・醤油
- ・米酢
- ・菜種油

保存は冷蔵庫  
で5日間程度

- ① 芽ひじきを5分目に浸した後水切りし、熱湯に入れてひと煮立ちさせる。
- ② ざるに上げて水気を絞ったら、合わせておいた調味液に入れる。



「わかめアニキ」  
こと坂詰代表  
(Wa!わぁ祭り2024)

〈ポイント〉

- ・芽ひじきは浸る程度の少なめの水で戻す。
- ・芽ひじきが熱いうちに調味液に浸す。
- ・オリーブオイル、ごま油など好みの油でOK

## 今後の予定

5/21~31  
水 土

### 議案書説明会

場所/8地区で8開催(本紙P7をご覧ください)  
参加費/無料 締め切り/開催の10日前  
参加希望の方はあいこープまでお電話でご相談ください

6/20  
金

### 第37回 2025年度 通常総代会

場所/エルパーク仙台 6Fギャラリーホール  
時間/10:00~12:30(予定)  
参加費/無料 ※傍聴可能です。  
あいこープまでお問い合わせください

7/17  
木

### 石けん環境委員会主催 香害学習会(仮)

場所/日立システムズホール 3Fエッグホール  
時間/10:00~12:00  
参加費/無料 ※講師はオンラインで講演予定です

あいこープみやぎは女川原発の稼働停止と核燃料の乾式貯蔵施設建設中止を求めます

### 女川原発の再・再稼働から

2024年10月29日再稼働し  
不具合による停止を経て11月  
13日に再稼働しています

172  
日目

早く  
停止を

2025年5月5日現在